

4 3 日常点検の実施について（2）

「40 日常点検の実施について」（平成23年2月発行）で、事故防止には日常点検の実施が大切であることを紹介しました。

ここでは、地下貯蔵タンクの日常点検を行う際のポイントをまとめましたので紹介します。

1 危険物の在庫確認

液面計又は計量棒により測定した結果と、注入量と使用量から計算した残油量とを比較してください。定期的にチェックをすることで、異常の有無をいち早く発見できます。

2 漏えい検査管による確認

漏えい検査管により危険物の流出の有無を確認してください。このとき、漏えい検査管の深さについても記録し、目詰まりによる検査機能の低下を防ぎましょう。

3 地下タンク周囲の点検

タンク上部のスラブやマンホール等に亀裂や損傷がないかを確認してください。亀裂や損傷部分から、作業中にこぼした危険物や水が浸透すると、タンク等の腐食の原因になります。

4 事業所周囲の水路等の確認

事業所周囲の水路等に油が浮いていないか、臭気がないかを確認してください。漏えい箇所によっては、漏えい検査管により発見できない場合もあります。

※ 万が一危険物の漏えいを確認したときは、応急の措置を講じるとともに、直ちに消防機関に通報してください。